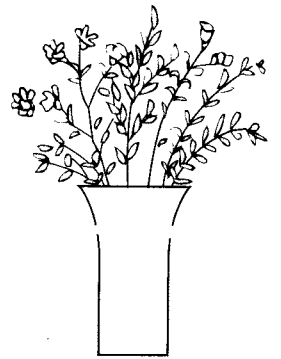


楽しい生活

「木の国」のベスト・ナイン

東京大学名誉教授 森林化学

善本 知孝



皆さんは木の名前を幾つ知っていますか。十言えますか。岡田師は日本を「木の国」だとおっしゃいました。特徴のある木の、私のベスト・ナインを選んでみます。

「スギ」は知っていますね。東京などにいると存外お目にかかれない木ですが花粉症が流行ってからすっかり有名になりました。それにサーモンピンクの天井板としては、かつて名声を博したものです。スギは日本で一番たくさんある木です。

「ヒノキ」も知らぬ人はいないけれど、東京では余り見かけません。有名なわけはヒノキの柱が日

本家屋になくはならなかったからでしょう。スギと似て樹形は三角、葉が違ってこちらは平ら、スギは柱状です。

今のスギとヒノキは植林した木です。大昔から日本にあったのですが、人が好んで伐採したので枯渴しました。江戸時代には植林が始まり、特に戦後、木材が足りなくなつて、今まで他の木が生えていた、里に近い林にも植えました。今の山の緑は彼らのおかげですが、日本の紅葉を貧しくした元凶の一つでもあります。

「カラマツ」は本州では高度千メートル位の所によく育ちます。

一八七九年から植林が急速に進み、成長がいいので、一九二一年、北原白秋が「落葉松」を歌った頃、立派な林になっていました。秋のカラマツは美しく、緑が金色に変わります。柔らかな木なのに、この頃は家具の表面にさえ使っています。白秋のおかげで、白がすぐ赤に変わることがかえって、ロマンチックに見えるのでしょうか。

「マツ類」は荒地にだって生えることでも有名で、他の木が生えないような、例えば潮風の強い海岸や、崖崩れがあった山肌にも生えます。雑木林は、下生え、落葉を集めて農地に注ぎ込んでいるう

ちに、土の栄養が減って、マツ林に変わります。逆に林の手入れを怠るとマツはナラ、クヌギに負けてしまいます。自由に育ったマツは曲がりやすく、建築では普通裏方ですが、樹脂っぽさを利用した廊下板は晴の舞台です。

これら四つの木はみんな葉が針のように細く、針葉樹と呼ばれています。針葉樹はかつて、それは恐竜が大地を闊歩していた時代（二〇〇〇〇〜一三〇〇〇年前）日本全土を支配していましたが、暖かくなった縄文時代の後期（三五〇〇〜二二〇〇年前）には北海道に追いやられました。もちろん相應の寒さの高山には残っていたのですが。

葉が広い木は広葉樹と言います。恐竜の時代が終わってから地球に現れました。日本の自然は彼らを育てました。でも特別な木を除いて人の関心を引いていません。彼



善本 知孝
1930年生まれ
農学博士
東京大学名誉教授・森林科学
財団法人微生物応用技術研究所 技術顧問

らは真つすぐに生えないし、スギやヒノキと比べ重く、その割に腐りやすいから材木として使いにくかったせいでしょう。でも燃料など日常の雑用には役立ちました。それに東日本に生える落葉性のものは紅葉で日本人の目を楽しませました。

「ナラ類」は関東の雑木林や東日本の平地の主役で、炭の原料で

した。シイタケ栽培が盛んになったこの五十年間は、タネ菌を植える原木として大変重宝だったので。建築には向いていませんがミズナラは家具に適していて、ヨーロッパに出ていく程です。

「ブナ」は白神山地の世界遺産指定で脚光を浴びている、姿の美しい木です。でも関東以北の高い山ではごく普通にあります。重い

ことから、鉄道の枕木や鋤山用の鋤木に使われました。容易に曲がるので家具にも使いますが、ナラ類よりも安っぽく光ります。

林をほとんど作らない、広葉樹があります。「ケヤキ」は真つすぐで見事な枝振りをも今も武蔵野で見せています。腐りにくいことから、重くても昔から柱や梁に使われています。

ここまで四セット八種は簡単に選べました。あと一つ、総まとめに相応しい木は何か、ためらいませんがやはり街路樹にもなる桜餅でしょう。年に一度の花見はソメイヨシノ。ヤマザクラは細工物に適し、小道具作りの原材料になります。またオオシマザクラの葉は桜餅を包みます。

木材産業の技術が発達したことや、外国から安い原木が入ってきて、日本の木はいつのまにか遠い存在になりかけています。この用途はこの木という特殊な関わりが減ったせいです。「木の国」の住人が木の名前から姿を想像できなくなるのは、日本人が原風景の一つを失うことにも繋がります。山へ入って森に入り、木を見、木の名と形を確認したいものです。

「クス」も似た性質の木です。暖かい土地に生えます。木肌は綺麗で、腐り難さを生む樟脳の香りは社寺用に相応しいようで、仏像にさえ使われています。クスは大木になりやすく、鹿児島島の蒲生神社や熱海の来宮神社のは名物です。

木が真つすぐなのは育て方より、素質におう方が大きいようです。

国が作った国民休養林はそういった目的にはピッタリでしょう。